

虹の架け橋

一ノ宮小学校 第2回学校評価だより 2019/3/5

校庭の木々が、春を知らせる季節となりました。第2回学校評価アンケートではご協力いただきありがとうございました。学校では、アンケートの結果を全教員で確認し、その結果を受けて今後の取組について考える機会をもちました。また、学校評議員の方々にもご意見をいただきましたので、結果と今後の方針等についてお知らせいたします。これからも子供たちの学校生活がより充実するよう努めてまいりますので、ご支援とご協力をよろしく願いいたします。



音楽集会（6年生の発表）

I 学校との連携について

すべての項目でAとBが97%以上の高い評価をいただきました。2月の授業参観では保護者の参加率99%という素晴らしいご協力をいただき、子供たちが発表したり、話し合ったりする姿を見ていただきました。どの子供も自信をもって授業参観を迎え、成功体験とすることができました。こうした体験の積み重ねが子供たちの自信につながると考えます。

緊急メールの登録もほぼ100%となり、インフルエンザ感染拡大防止のための対応では、状況に応じて連絡させていただくことができました。今後も学校と家庭が同じ歩調で子供たちの指導に当たることができるよう連携を深めていきたいと思っております。

<p>①学校・学年・学級便り等でお子さんの活動や学習の様子をお伝えしていますが、分かりやすく伝わっていますか。</p>	<p>②授業参観やすすくプラン、懇談会、運動会などの学校行事に参加していますか。</p>	<p>③学校では、電話連絡や連絡帳等により、連絡や相談がしやすいように心がけていますが、学校に連絡したり相談したりしやすいですか。</p>
<p>たより等で様子が分かる</p>	<p>授業参観・行事に参加</p>	<p>連絡・相談はしやすい</p>
<p>A:よい B:だいたいよい C:あまりよくない D:よくない</p>		

II 確かな学力について

本校では、確かな学力を育成するために、じっくり考え、しっかり表現させる授業の充実を全職員が進めてきました。学校の授業は分かると回答した児童は95%でした。学校の授業中、習ったことを使って考えをノートに書き、説明することができますかという問いには、できると回答した児童が78%でした。クラス全員の前で進んで発言するだけでなく、ペアやグループで自分の考えを発言することも大切な説明であることを子供たちに伝えながら、授業の中で子供が説明する機会を多く取り、これからも子供たちの思考力・判断力・表現力を高めていく取組を職員で共通実践していきます。



グループで話し合い

週末読書にご協力をいただいております、「週末読書の時にしか読書をしなない」等の感想をいただくほどになりました。学校では、図書室の利用も多く、学習活動の合間に読書に夢中になっている子供たちの姿が見られます。学校評議員の方々からは、「メディアのルールづくりと関連させながら、粘り強く働きかけてほしい。また、世の中の今を知るツールとして新聞を活用することも大切であるので、本だけでなく新聞への関心も高めてほしい。」との、ご意見をいただきました。国語を中心とした各教科との関連を図りながら、本や新聞に親しむ機会を引き続き設けてまいります。

④学校ではやる気や興味・関心を引き出すような授業になるように工夫をしています。お子さんの話や授業参観などからその様子がわかりますか。	⑤お子さんには、これまで学んできたことが身に付いていると思いますか。	⑥お子さんは、家庭で宿題や自主学習などを進んでしていますか。	⑦お子さんは、家庭で読書をしていますか。
<p>意欲を引き出すよう工夫</p>	<p>学んだことが身に付いて</p>	<p>家庭で学習している</p>	<p>家庭で読書をしている</p>

III 豊かな心(挨拶・言葉遣い)について

教育委員会の年度末訪問で、教育委員さんに来校者への子供の対応がとても親切であると絶賛されました。挨拶ができると回答した子供たちは、94%と高い評価となっています。

学校関係者評価では「大人から声を掛けると挨拶を返せるが、自分から挨拶をする児童は少ない。下校の見守りボランティアの方や登校の旗振りの方への感謝の気持ちを挨拶を通して伝えられるとよい。」とのご意見をいただきました。

地域に出ても進んで挨拶できる子供たちとなるよう、学校では、学活や道徳等の授業、学校行事において指導を継続していきます。ご家庭でも挨拶を自分からするという事について、折に触れて伝えていただきたいと思います。

⑧進んであいさつのできる子を学校では目指していますが、お子さんは、家庭や近所で進んで挨拶をしていますか。	⑨丁寧な言葉遣いを学校では指導していますが、お子さんは、時や場を考えた言葉遣いができていますか。
<p>進んであいさつしている</p>	<p>時や場に応じた言葉遣い</p>

IV 豊かな心(心の教育)について

「楽しく学校に通っている」と98%の保護者の方に回答いただきました。また、友達を大切にする学校づくりについても96%の保護者の方から良い評価をいただいております。今後も、いじめは絶対に「しない・させない・見逃さない・許さない」を学校全体で確認しながら、いじめ防止を最優先課題として全職員と全児童



縦割り集会

で取り組んでまいります。相手の気持ちを考えた言動がよりできる児童、悪いことや間違ったときにも正直に話すことができる児童を目指して、道徳教育、人権教育を進めていきたいと考えております。

<p>⑩お子さんは、楽しく学校に通っていますか。</p>	<p>⑪学校では、一人一人がいじめ〇（ゼロ）宣言をするなど友達を大切にする学校づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>⑫お子さんは相手を考えた言動ができてきていると思いますか。</p>	<p>⑬お子さんは悪いことや間違ったことをした時、正直に話すことができますか。</p>
<p>楽しく学校に通っている</p>	<p>友だちを大切にする学校</p>	<p>相手を考えた言動</p>	<p>正直に話す</p>

ノーメディアデーの取組にご協力いただきありがとうございました。ルールを決めてゲームや動画、テレビと関わっている児童がいる反面、長時間を費やし就寝時刻が遅くなっている児童もいるということが分かりました。ご家庭でルールを決めて、自分でやめることができる習慣を身に付けさせることが大切です。学校保健委員会で専門医からも脳や視力、体力等に影響があることを教えていただきました。今後も、テレビやゲーム、インターネットの使い方については、「ノーゲーム、ノーメディア、ノーテレビデー」の取組等を通して学校でも指導してまいります。ぜひご家庭でもお子さんと話し合っただけければと思います。

<p>⑭お子さんは、家でお手伝いをしていますか。</p>	<p>⑮お子さんと、テレビを見る時間やゲームをする時間、インターネットの使い方などのルールを相談して決めていますか。</p>
<p>お手伝いをしている</p>	<p>テレビ・ゲームのルールがある</p>

Ⅴ 健康づくりについて

学校では、運動量を確保できるよう体育の授業を工夫したり、休み時間に校庭で体を使った遊びができるよう働きかけたりしながら、体力向上に向けた取組を進めています。

一方、週末の過ごし方によって月曜日に不調を訴える児童も見られます。朝食を食べること、睡眠時間を確保することは、子どもたちが学校で力を発揮する原動力です。

ご家庭のご協力をいただきながら子供たちが健康的な生活が送れるよう取り組みたいと思います。



体育集会

<p>⑯お子さんは、毎朝朝食を食べて登校していますか。</p>	<p>⑰お子さんは、8時間以上の睡眠がとれていますか。</p>
<p>毎朝朝食を食べる</p>	<p>年齢相応の睡眠</p>

VI 安全確保について

日頃より登下校指導等の安全確保についてご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。神農原ネットワークや更生保護女性会の皆様には、毎日児童の下校を見守っていただきました。また、今年度はブロック塀の安全点検や、不審者による声かけ事案など、関係機関との連携による安全確保の取組を行ってきました。これからも、児童の安全を第一に考え、家庭や地域、関係機関としっかりと連携を取り合いながら、児童が安心して学校生活を送ることができる環境を整えていきたいと考えております。



下校見守り活動

<p>⑱学校では、毎月1日に安全点検を実施し、校舎の施設・設備が危険でないか点検をしています。学校の設備は安全だと思いますか。</p>	<p>⑲学校では歩き方教室や自転車教室、交通安全教室等を行うことで、安全に目を向けさせる指導を行っています。お子さんは、安全な歩行、自転車の乗り方ができていますか。</p>	<p>⑳学校では、交通指導や避難訓練、集団下校などを行っています。学校の安全指導が事故防止につながっていると思いますか。</p>	<p>㉑交通街頭指導や登下校見守り隊（更生保護女性会、神農原ネットワーク）などを通して、交通安全や防犯について、学校・家庭・地域とが連携して取り組んでいると思いますか。</p>
<p>学校施設は安全</p>	<p>安全な歩行自転車の乗り方</p>	<p>安全指導の成果</p>	<p>交通安全・防犯での連携</p>

VII 児童の将来の夢や希望について

一人一人の子供たちが自分の理想や夢に向かって、将来にわたって努力し続けることのできるよう、西中学校区では共通のキャリア教育グランドデザインを策定しています。

また、縦割り班活動では、6年生が中心となって活動を一年間進めてきました。皆の手本となって学校生活を送ってきた6年生の卒業を控え、5年生が「6年生を送る会」を立派に企画し運営しました。中学年の子供たちは高学年の子供たちの姿をあこがれとして見つめ、低学年の子供たちは高学年の子供たちにやさしく教えてもらって、人との関わりの大切さを学びます。

各学年の実態に応じて、教科、道徳、特活の中で自分のよさに気付いたり、将来にわたって、自分の理想や夢の実現に向けて、継続的に努力することのできる人になるよう支援していきたいと思います。

学校評価では貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。新年度もよろしくお願いいたします。

<p>㉒お子さんの将来の夢や希望を知っていますか。</p>	<p>㉓お子さんはやるべき事が分かり、それを自信をもってできますか。</p>
<p>将来のことを話すか</p>	<p>人前でも自信のある行動</p>



運動会表現